

「受講者募集の勘所とポイント」を開催しました ～利用者目線での情報発信の提案～

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
求職者支援課

1. はじめに

令和元年10月16日に公的職業訓練の実施機関向けの講座を開催しました。

近年は雇用環境が良くなり、求職者数が年々減少していますが、職業訓練を必要としている方はまだまだ多いと思われま

す。本講座では、『TKM（徹底的顧客目線）』をテーマに、「訓練対象者の特徴」を理解し、グループワークで「求職者支援訓練の魅力伝える広報メッセージ」を作成し、効果的な受講者募集について考えました。



2. TKM（徹底的顧客目線）

そもそも職業訓練の存在を知らないという求職者の方は多くいます。そのような職業訓練の知識のない方に興味を持ってもらうには、訓練を提供する側が伝えたいことだけ話すのではなく、職業訓練を受講するとどのようなメリットがあるか、顧客（求職者）の立場に立って必要な情報を届ける必要があります。

そして、求職者支援訓練受講者のアンケート結果から訓練対象者の特徴的傾向（自身の能力への不安、公的な相談支援サービスを受けることが少ない等）や訓練を受講することになった決め手

（スキルが身につくと感じた、自分でもできると感じた等）が紹介されました。

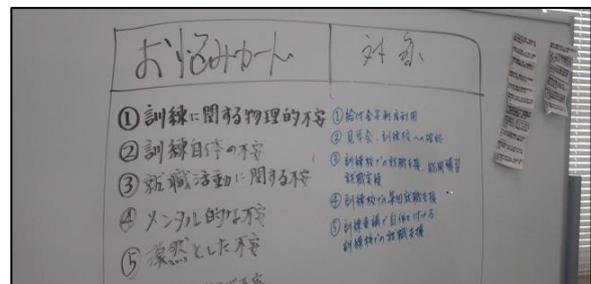
3. 情報の整理整頓

求職者の方へ何を伝えればよいか、グループ演習を通じて検討しました。

まず、求職者の方が抱えている悩み（不安、不満等）をホワイトボード（左側）に書き出してもらいました。

次に求職者支援訓練の魅力（伝えたいこと）について話し合い、それで求職者の方の悩みが解決できるのであればホワイトボード（右側）に書き出すことで、求職者の方の悩みに対する回答を整理していただきました。

そして、具体的な香川県内における求職者支援訓練の周知方法についても話し合いました。



○グループ演習後のホワイトボード

4. 終わりに

ここで受講者の声を紹介。「セールスポイントをどこにおくかが明確になった。」「大きな悩みなので良かった。」「資料がわかりやすく作られていて、頭の整理ができました。」といった声を頂戴しました。

今回紹介した内容が受講者募集に役立てていただければ幸いです。

（香川支部 求職者支援課記 2019.10.16）